

## 1. 化学品及び会社情報

製品名 : Green High Density Polyethylene  
 製品コード : SGE7252, SGE7252NS, SGE7252XP, SGF4950, SGF4950HS, SGF4950TT, SGM7746C, SGM9450F, SHA7260, SHC7260, SHC7260LS-L, SHD0860, SHD0952, SHD1760, SHD2560, SHD7255LS-L, SHE150, STGE7252NS, STGF4950, STGM9450F, STHA7260, STHC7260, STHD0860, STHD2560, STHE150.  
 CAS 番号 : 25087-34-7

### 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : ポリマー製剤および化合物

### 会社情報

Braskem S.A.  
 Rua Eteno, 1561, Polo Petroquímico de Camaçari  
 Camaçari, BA, CEP: 42810-000, Brasil  
 +55 (71) 3413-3600  
 email: productsafety@braskem.com

### 緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : +1 703-741-5970 (国際 24 時間)  
 + (81) -345209637 (日本- 24 時間)

## 2. 危険有害性の要約

ラベル表示適用外

### 他の危険有害性

他の危険有害性 : 本製品の漏出物は滑る危険性が非常に高い。  
 取り扱い中に静電気が発生することがある。  
 衝撃および処理時、粉砕時、または輸送時に生じる摩擦に由来する顆粒の劣化によって、粉じんが発生する可能性がある。  
 本製品の粉じんは、呼吸器の炎症を引き起こす場合がある。

他の危険有害性 : 本製品の漏出物は滑る危険性が非常に高い。  
 取り扱い中に静電気が発生することがある。  
 衝撃および処理時、粉砕時、または輸送時に生じる摩擦に由来する顆粒の劣化によって、粉じんが発生する可能性がある。  
 本製品の粉じんは、呼吸器の炎症を引き起こす場合がある。

処理時の追加危険有害性 : 本製品の取扱いによって静電気が蓄積されることがある 適切なアースを設置する。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 物質  
 化学名 : 1-Butene, polymer with ethene

名前	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
ブタ-1-エン・エテン重合物	100	(C4H8. C2H4)x	(6)-18	-	25087-34-7

## 4. 応急措置

### 応急措置

- 応急措置 一般 : 被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。  
気分が悪い場合は医師の診察を受ける(可能であればラベルを見せる)。
- 吸入した場合 : 被災者を新鮮な空気のある場所に移動させる。  
被災者を休息させる。
- 皮膚に付着した場合 : 溶解した本製品と接触後、冷たい水ですばやく冷やす。  
溶けた物質を皮膚から取り除こうとしないでください。  
溶解物質による火傷は、専門家の診断を受けなければならない。
- 眼に入った場合 : 直ちに多量の水で15分以上丁寧に眼を洗う。  
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
痛みや発赤が続く場合は医師の診察を受ける。  
眼科医の診察を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 飲み込んだ場合、口の中を水ですすぐ(意識がある場合に限る)。  
直ちに医師の診察を受ける。  
直ちに医師に連絡すること。  
医師の診断なく、無理に吐かせない。  
胃腸閉塞を引き起こす可能性があります。下剤を与えないでください。

### 急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

- 症状/損傷 吸入した場合 : フュームは呼吸器系を刺激する。  
本製品から発生する粉じんは、吸い込み過ぎると呼吸器の炎症を引き起こす場合がある。
- 症状/損傷 皮膚に付着した場合 : 本製品の粉じんは、皮膚の炎症を引き起こす場合がある。  
溶解した製品は皮膚に付着し火傷を引き起こす。
- 症状/損傷 眼に入った場合 : 塵埃は機械敵刺激物です。  
粉塵や煙は目に刺激を与える可能性があります。  
効果には、不快感や痛み、発赤が含まれる場合があります。
- 症状/損傷 飲み込んだ場合 : 飲み込むと有害のおそれ。  
窒息の危険。

### 医師に対する特別な注意事項

- 医師への情報 : 対症的に治療すること。

## 5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 泡消火剤、乾燥粉末消火剤、二酸化炭素、水噴霧、砂
- 使ってはならない消火剤 : 火災拡散の恐れがあるため、強力なジェット水流は使用しないこと。
- 火災危険性 : 不完全燃焼によって、危険な一酸化炭素、二酸化炭素、その他の有毒ガスを放出する。
- 爆発の危険 : 衝撃および処理時、粉砕時、または輸送時に生じる摩擦に由来する顆粒の劣化によって、粉じんが発生する可能性がある。  
空気中の浮遊粉じんにより爆発の恐れがある。
- 消火方法 : 水噴霧や霧水で熱にさらされた容器を冷却する。  
粉じんの形成と拡散を防ぐ。  
水噴霧で塵雲を抑える/希釈する。  
化学物質の消火活動は慎重に行う。  
消火に使用した水が環境中に流出しないようにする。

- 融融材料に直接水がかからないようにしてください。融融形態は水と接触すると爆発します。
- 消火時の保護具 : 呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。
- その他の情報 : 粉末状物質を揺すり、空中の粉じんと混ぜない。  
粉じんは空気と共に引火性と爆発性のある混合物を形成する場合があります。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

- 一般的措置 : 粉じんの形成と拡散を防ぐ。  
十分に換気し、粉じん濃度を最小限に抑える。  
静電気放電に対する予防措置を講ずること。  
皮膚、眼、あるいは衣服との接触を避ける。  
本製品の漏出物は滑る危険性が非常に高い。  
ヒューム、蒸気、粉じんを吸入しないこと。

### 非緊急対応者

- 応急処置 : 不要な職員を退避させる。

### 緊急対応者

- 保護具 : 清掃職員に適切な保護具を支給する。  
応急処置 : エリアを換気する。

### 環境に対する注意事項

- 環境に対する注意事項 : 下水道や公共用水域への侵入を防ぐ。  
液体が下水道や公共用水域に流入した場合、行政に通知する。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 浄化方法 : 漏出物は掃くまたはシャベルですくって適切な容器に封じ込め廃棄に備える。  
十分な濃度で大気中に放出されると爆発性混合物を形成する可能性があるため、粉塵の堆積物が表面に蓄積することを許可しないでください。粉塵が空気中に飛散しないようにしてください（つまり、粉塵の表面を圧縮空気ですくって除去します）。  
粉じんの生成を最小限に減らす。  
静電気放電に対する予防措置を講ずること。  
火花を発生させない工具を使用すること。  
他の物質から離して保管すること。  
国内外の全ての規制に準拠しているか確認する。  
固体廃棄物については適用法令を遵守する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

- 安全取扱注意事項 : 警告：可燃性（爆発性）粉塵 - 空気混合物を形成する可能性があります。  
ほこりの蓄積を防ぎ、爆発の危険を最小限に抑えます。  
使用前に取扱説明書を入手すること。  
作業エリアでは十分な換気を行い蒸気の発生を予防する。  
熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。  
静電気放電に対する予防措置を講ずること。  
使用しない場合は、容器は密閉しておく。

- 粉末状物質を揺すり、空中の粉じんと混ぜない。  
皮膚、眼、あるいは衣服との接触を避ける。  
粉じん、ヒュームを吸入しないこと。  
粉塵の発生と蓄積を最小限に抑えます。ほこりが表面に蓄積しないように、定期的なハウスキーピングを実施する必要があります。乾燥粉末は、移送および混合操作の摩擦を受けると、静電気を蓄積する可能性があります。電気接地やボンディング、または不活性雰囲気など、適切な予防措置を講じてください。  
適切なアースを設置し静電気の蓄積を避ける。
- 衛生対策 : 飲食前、喫煙前、または作業終了後は、手および汚染エリアをマイルドソープと水で洗浄する。  
適切な産業衛生安全実務に従って取り扱う。
- 処理時の追加危険有害性 : 本製品の取扱いによって静電気が蓄積されることがある 適切なアースを設置する。

## 保管

- 安全な保管条件 : 必ず元の容器に保管し、換気の良い冷暗所に保管する。  
使用しない場合は、容器は密閉しておく。  
裸火、高温、発火源から遠ざけて保管する裸火/熱を遠ざける。
- 安全な容器包装材料 : データなし
- 技術的対策 : 十分に換気し、粉じん濃度を最小限に抑える。  
ばく露のリスクのあるすべての場所の近くに、救急用の目をすすぐ器具と安全用のシャワーが設置されなければなりません。  
適切なアースを設置し静電気の蓄積を避ける。  
火花を発生させない工具を使用すること。
- 混触禁止物質 : 強酸。強力な酸化剤。

## 8. ばく露防止及び保護措置

- 設備対策 : ばく露のリスクのあるすべての場所の近くに、救急用の目をすすぐ器具と安全用のシャワーが設置されなければなりません、局所排気または一般的な部屋の換気を行い、粉じんへのばく露を最小限に抑える、十分に換気し、粉じん濃度を最小限に抑える、この製品の取り扱いに関する局所排気装置や材料輸送システムなどのすべての粉塵制御装置には、爆発防止バントまたは爆発抑制システムまたは酸素欠乏環境を含めることをお勧めします。粉塵処理システム（排気ダクト、集塵機、容器、処理装置など）が、粉塵が作業エリアに漏れないように設計されていることを確認します（つまり、装置からの漏れがないこと）。適切に分類された電気機器と動力付き産業用トラックのみを使用してください

## 保護具

- 呼吸用保護具 : 呼吸に適した総粉塵曝露制限を超えた場合、または刺激を感じた場合は、人工呼吸器が必要になる場合があります、適切なマスクを着用する、呼吸保護具は、製品を取り扱うとき、発生する可能性がある有害物質の最大濃度（ガス、蒸気、エアロゾル、粒子）に見合う等級のフィルターを使用すること。この濃度を上回るときは、自給式呼吸保護具を利用すること、産業衛生士に相談して、この物質の特定の用途に適した呼吸保護具を決定してください。作業環境で人工呼吸器の使用が必要な場合は、適用されるすべての規制に準拠した呼吸保護プログラムに従う必要があります。
- 手の保護具 : 機械的損傷を防ぐため、保護手袋を着用してください。溶融物から熱を守るため、断熱材付きの手袋を着用してください。保護手袋を選ぶときは、耐薬品性と耐熱性を確認してください

眼の保護具	: ペレットを取り扱う際は、サイド シールド付きの安全眼鏡を着用する必要があります。高温処理中、アイコンタクトの可能性がある場合は、しっかりとフィットするゴーグルおよび/またはフェイスシールドを着用してください
皮膚及び身体の保護具	: 個人用保護服は、実行するタスクと関連するリスクに基づいて選択し、取り扱う前に専門家の承認を得てください。溶融した物質を取り扱う場合は、熱から保護する長袖の服、ブーツ、手袋を着用する必要があります。
その他の情報	: 使用中は飲食禁止かつ禁煙

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 固体
外観	: 粒状固体
色	: 白からオフホワイト
臭い	: データなし
pH	: データなし
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: 350 ° C
分解温度	: データなし
可燃性	: 不燃性
蒸気圧	: データなし
相対密度	: 0.908 - 0.939 g/cm <sup>3</sup>
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: 次のものに可溶: キシレン臭。 水: 不溶性
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子サイズ	: データなし
粒径分布	: データなし
粒子形状	: データなし
粒子アスペクト比	: データなし
粒子比表面積	: データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
化学的安定性	: 通常の使用条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 危険な重合は起こらない。
避けるべき条件	: 過熱。
混触危険物質	: 強酸。強力な酸化剤。
危険有害な分解生成物	: 室温では、危険な分解をするいかなる製品も知られていない。

## 11. 有害性情報

潜在的な健康有害性及び症状	: 通常の使用条件下では、重大な危険有害性はないと思われる、高温物質との接触－重度の火傷の恐れ
その他の情報	: 可能性が高いばく露経路: 経口摂取、吸入、皮膚や目
急性毒性 (経口)	: 入手可能なデータに基づくと、分類基準が満たされていません
急性毒性 (経皮)	: 入手可能なデータに基づくと、分類基準が満たされていません
急性毒性 (吸入)	: 入手可能なデータに基づくと、分類基準が満たされていません

ブタ-1-エン・エテン重合体 (25087-34-7)	
LD50 経口 ラット	4 g/kg

皮膚腐食性/刺激性	: 入手可能なデータに基づくと、分類基準が満たされていません
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 入手可能なデータに基づくと、分類基準が満たされていません
呼吸器感作性	: 入手可能なデータに基づくと、分類基準が満たされていません
皮膚感作性	: 入手可能なデータに基づくと、分類基準が満たされていません
生殖細胞変異原性	: 入手可能なデータに基づくと、分類基準が満たされていません
発がん性	: 入手可能なデータに基づくと、分類基準が満たされていません
生殖毒性	: 入手可能なデータに基づくと、分類基準が満たされていません
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 入手可能なデータに基づくと、分類基準が満たされていません
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 入手可能なデータに基づくと、分類基準が満たされていません
誤えん有害性	: 入手可能なデータに基づくと、分類基準が満たされていません

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

生態系 - 全般	: 本物質は水性生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。
水生環境有害性 短期 (急性)	: 入手可能なデータに基づくと、分類基準が満たされていません
水生環境有害性 長期 (慢性)	: 入手可能なデータに基づくと、分類基準が満たされていません
その他の情報	: 環境への放出を避けること。

### 残留性・分解性

ブタ-1-エン・エテン重合体 (25087-34-7)	
残留性・分解性	この水不溶性高分子固体は、環境中で不活性であると予想されます。日光にさらされると、表面の光劣化が予想されます。かなりの生分解は予想されません。

### 生体蓄積性

ブタ-1-エン・エテン重合体 (25087-34-7)	
生体蓄積性	決定していない。

### 土壌中の移動性

ブタ-1-エン・エテン重合体 (25087-34-7)	
土壌中の移動性	データなし

## オゾン層への有害性

オゾン層への有害性	: データなし
オゾン層への影響	: 追加情報なし。
その他の有害な影響	: 追加情報なし

## 13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分	: 国、地域の規制に準拠して廃棄する。 国内外の全ての規制に準拠しているか確認する。 取扱いおよび廃棄については専門家に問い合わせる。 バルブアウトレットプラグまたはキャップを固定し、バルブ保護キャップを取り付けた適切なラベルを付けた輸送用コンテナで返送し、適切に廃棄してください。
残余廃棄物	: 環境への放出を避けること。 土壌、排水路、地表水の汚染を防ぎます。
追加情報	: 空の容器を再利用しない。 廃棄物を下水へ廃棄しない。 家庭ごみとして廃棄しない。

## 14. 輸送上の注意

### 国際規制

#### 道路輸送 (UN RTDG)

国連番号 (UN RTDG)	: 規制されていません
正式品名 (UN RTDG)	: 規制されていません
容器等級 (UN RTDG)	: 規制されていません
輸送危険物分類 (UN RTDG)	: 規制されていません

#### 海上輸送 (IMDG)

国連番号 (IMDG)	: 規制されていません
正式品名 (IMDG)	: 規制されていません
容器等級 (IMDG)	: 規制されていません
輸送危険物分類 (IMDG)	: 規制されていません

#### 航空輸送 (IATA)

国連番号 (IATA)	: 規制されていません
正式品名 (IATA)	: 規制されていません
容器等級 (IATA)	: 規制されていません
輸送危険物分類 (IATA)	: 規制されていません

海洋汚染物質	: いいえ
--------	-------

### 国内規制

その他の情報	: 補足情報なし
--------	----------

## 15. 適用法令

### 国内法令

化審法 - 既存・新規公表化学物質  
労働安全衛生法 - 既存化学物質

### その他の規制情報

規則参照	: 収載あり—米国 TSCA (有害物質規制法) インベントリー - ステータス: アクティブ、収載あり—カナダ DSL (国内物質リスト)、収載あり—AICIS (オーストラリア工業化学品管理制度)、収載あり—PICCS (フィリピン既存化学物質リスト)、収載あり—日本 ENCS (既存化学物質) インベントリー、収載あり—KECL/KECI (韓国既存化学物質リ
------	--

スト)、記載あり—IECSC (中国現有化学物質名録)、記載あり—NZIoC (ニュージーランド既存化学物質リスト)、記載あり—日本 ISHL (労働安全衛生法)、記載あり—TCSI (台湾化学物質インベントリ)、記載あり—NCI (ベトナム - 国家化学品インベントリ)

## 16. その他の情報

その他の情報 : なし。

この情報は、当社の現在の知識に基づいており、健康、安全、環境要件のみを目的として本製品を説明するものです。そのため、これは本製品の特定の特性を保証するものではありません。化学物質を取り扱う者は、その危険性に関する知識を事前に得ておく必要があると警告しています。本製品の使用にあたり発生するかもしれないリスクについての研修は、この SDS を提供する製品会社の利用者とその会社が行うものとします。ここに含まれる情報は絶対的なものではなく、化学物質の使用と安全とセキュリティ対策の指示に関する一般的な情報に過ぎません。